

高松市春日地区 女性防火クラブ

香川県高松市春日地区女性防火クラブ
会長 小西 久美子



私たちが住む春日町は、高松市東部に位置しています。令和4年10月1日現在で、世帯数は2,210戸で人口は4,790人です。

高松市春日地区女性防火クラブは、平成12年に結成しました。家庭において火を取り扱うことが多い立場である女性が、火災予防知識を習得し、防火思想の普及啓発を行うとともに、地域内の自主防火体制の確立と連帯意識の高揚を図ることで、恒久的な明るい家庭づくりを目指すことを目的としています。毎年、自主防災組織や消防団と連携した地域防災訓練や高松まつりでの住宅防火の啓発に取り組んでいます。また、火災予防運動期間に合わせて、大型家電量販店で住宅用火災警報器啓発リーフレットを配布し、購入を促すなどの活動に取り組んでおります。

私たちが、住宅用火災警報器の普及啓発活動に力を入れているのは、香川県の設置率が全国平均

に比べて低いということも一つの要因です。一つでも多くの世帯に設置してもらうことで、住宅火災の被害の軽減に繋げていきたいと考えています。

今後も、高松市の住宅用火災警報器設置率アップに向けて、様々な取組みを実施します。「自分たちの家庭やまちは、自分たちで守る」という自助・共助の理念に基づき、研修や講演会などを通して、さらなる知識の習得に努めたいと思います。



東京都国分寺市 本多連合町会

東京都国分寺市本多連合町会
会長 加藤 清一郎



本多連合町会は、本多1丁目から5丁目の各町内（9町会）の集合体で、令和4年度の会員登録数は2,070世帯となっています。

本多連合町会は、昭和39年に発足し昭和50年には町会単位での防災活動を開始しました。昭和57年には国分寺市防災まちづくり地区の第2号として認定され、昭和60年には地区防災計画を策定、今日までに2回改訂しております。

本多連合町会の防災活動は、基本的には国分寺市の防災計画に準じており、「地区本部」として市の「地区防災センター」と町内会会員世帯との間に立って諸活動を実施しております。

主な活動ですが、以下の5項目を掲げております。

- ①家庭防災の強化 ②火災対策の強化
- ③防火防止 ④空き家の防災 ⑤安否確認

特に、①の家庭防災については、家庭用消火器の斡旋により普及率95%を達成しております。

また、以下の主な訓練も実施しております。

- ・安否確認訓練：「安全カード」による在宅避難の推奨、班長による各家庭の声掛け、人数集計など

- ・普通救命講習：消防署との連携による講習
- ・物資配給訓練：市より期限切れ間近の備蓄物資を無償提供いただき会員へ配布
- ・防災ひろば（イベント・・・コロナ禍で中止）：通報訓練、煙体験、初期消火訓練などの各種体験や炊き出し訓練などによる消防署と連携したイベント

さらに、令和2年には在宅避難アンケートを実施しました。850世帯からの回答があり、在宅避難の意識づけや各世帯が何を町内会へ求めているかが明確となり、今後の町内会の防災活動についてのヒントとなりました。

今後は、地区本部としての具体的な活動や役割分担などを、いざ災害が発生時した時に、誰でも実施できるような仕組み作りを目指したいと考えています。

